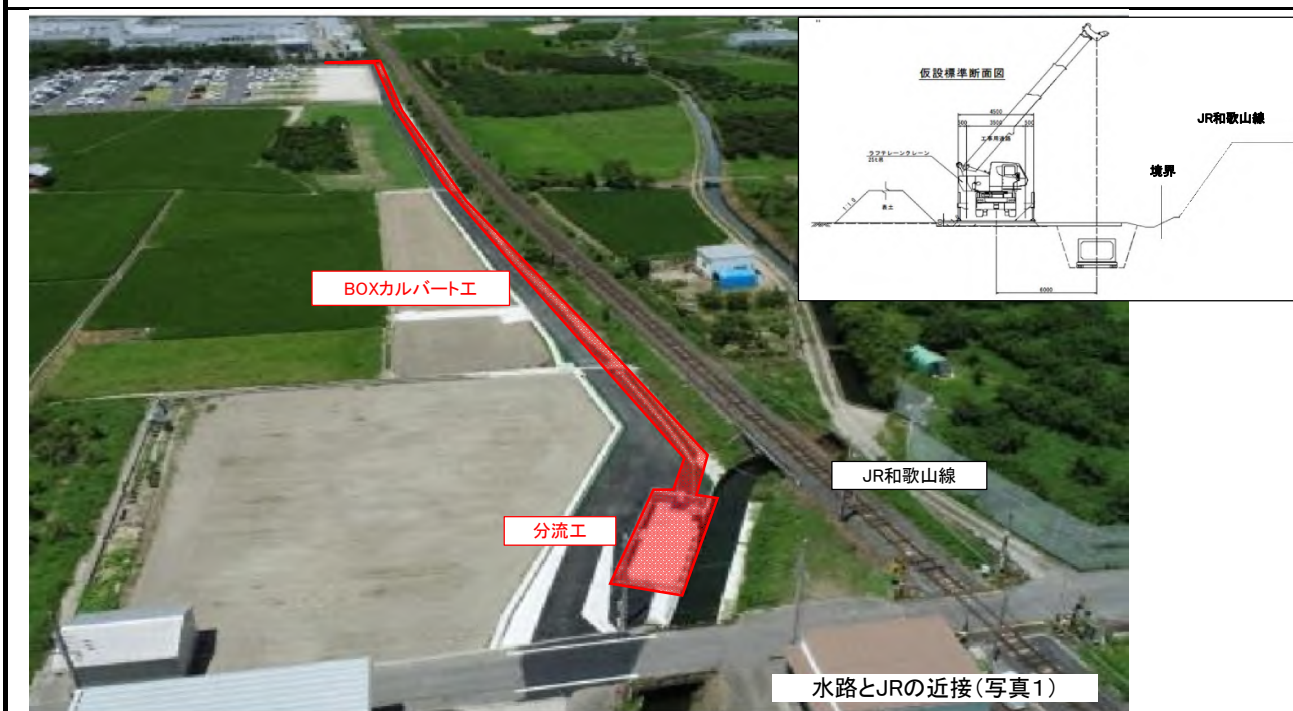


【工事】

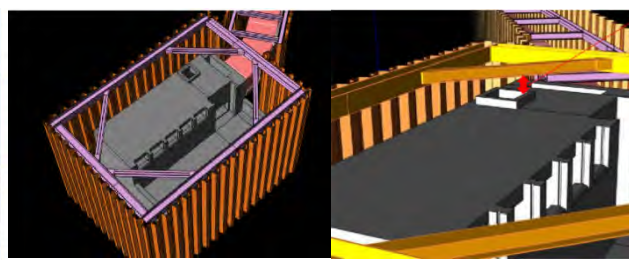
事業名		和歌山平野農地防災事業	表彰の理由
工事名	小田井水路（烏子排水路）工事		<p>本工事は、JR和歌山線に近接してボックスカルバート水路を新設するものであり、JRに与える影響を最小限とするため、施工の迅速性や精度の確保並びに安全対策が非常に重要な工事であった。（写真1）</p> <p>当初設計では、オープン掘削＋現場打ち基礎を計画していたが、JRに近接しており上下方向の変動量を9mm以内で管理する必要があることから、受注業者からの提案として、工事施工前に試掘調査を行ったうえで、土質の状況や地下水の状況に応じた</p> <p>①JR 近接部で湧水が確認された箇所は、建込み簡易土留め＋プレキャスト基礎</p> <p>②JR 近接部で湧水がない場合は、降雨による法面の崩壊を考慮し、速やかに埋め戻しを行うため、オープン掘削＋プレキャスト基礎の2種類の施工方法を実施した。（写真2）</p> <p>またドローンに搭載したレーザースキャナによる構造物の3D設計モデルを作成、2次元では確認しづらい構造物同士の取り合いや、構造物同士の間隔が容易に確認できるようになり施工上の問題点の早期解決を図った。（写真3）</p> <p>これらの対策によりJR和歌山線の境界付近の上下方向の変動を最大で-7mmに抑制することで、JR 和歌山線に対する影響や工事施工の一時中断リスクを回避した。</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるため、優良工事として表彰する。</p>
実施場所	和歌山県紀の川市打田、広野地先		
工事の概要			
受注者	第五工業（株）		
契約額	355,421千円（税込）		
工 期	令和5年9月4日～令和6年8月18日		
和歌山平野農地防災事業計画に基づき、雨水排水路の新設を行うものである。			
(1) ボックスカルバート B1,900×H1,100 L= 358.382m			
(2) 放流工 1箇所			
(3) 分流工 1箇所			

実 施 状 況 等



（写真2）

（左）建込み簡易土留め＋プレキャスト基礎
（右）オープン掘削＋プレキャスト基礎



（写真3）

（左）構造物の3D設計モデルを作成
（右）構造物と仮設のクリアランス確認

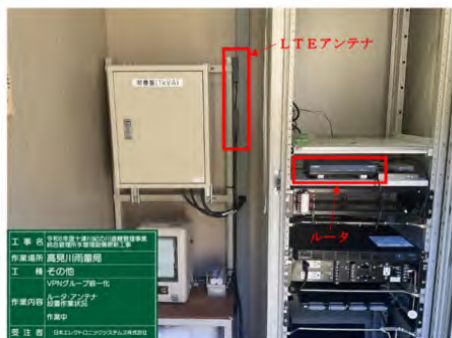
【工事】

事業名		十津川紀の川直轄管理事業		表彰の理由	
工事名		令和6年度 統合管理所水管理設備更新工事		<p>水管理システムの更新において、フレッツISDNのサービス終了に伴い他の回線への変更が急務である状況を踏まえ、受注者より当事業に係る維持管理費の軽減、通信品質の向上を目的に、NTT西日本管内では初めてのフレッツVPNとLTE回線を繋ぐことにより通信システムの構築が可能となる提案がなされ、NTT西日本、NTTグループ関係会社へ協力依頼・調整を図ったうえで検討、調整を行い、実装に向けて現地対向試験を実施し、LTE回線による安定的なシステム運用が可能となった。（写真1）</p> <p>また本工事による「新システム」と「既存システム」の切替に際して、予期せぬトラブル等が発生し、水管理システム全体に支障が生じるリスクを解消するため、現地試運転調整期間中における「既存システム」との併用運転を提案し受注者調整員不在となる夜間及び休日は既存システムに戻す等により、職員や技術員が習熟度の低い「新システム」による誤操作といったリスクを削減した。（写真2）</p> <p>以上のとおり、本工事はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるため、優良工事として表彰する。</p>	
実施場所		奈良県吉野郡大淀町下湊地内			
工事の概要					
受注者		日本エレクトロニクスシステムズ（株）			
契約額		149,259千円（税込）			
工期		令和6年4月23日～令和7年3月27日			
国営十津川紀の川土地改良事業により造成された統合管理所水管理システム機器等の更新、伝送回線の変更等を行うものである。					
(1) 情報処理設備 1式					
(2) 電源設備 1式					
(3) 情報処理設備 1式					
(4) 統合管理システム回線集約 1式					

実 施 状 況 等

（写真1）通信手法検討

LTE設備設置状況



設定作業状況



（写真2）既存システムとの併用運転

仮設ケーブルの設置



動作チェック状況



【業務】

【業務】

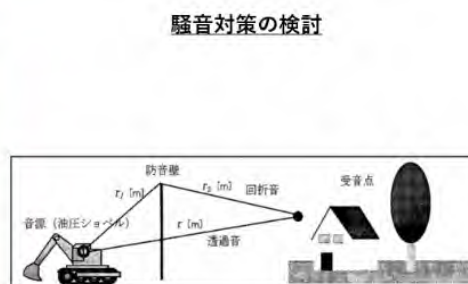
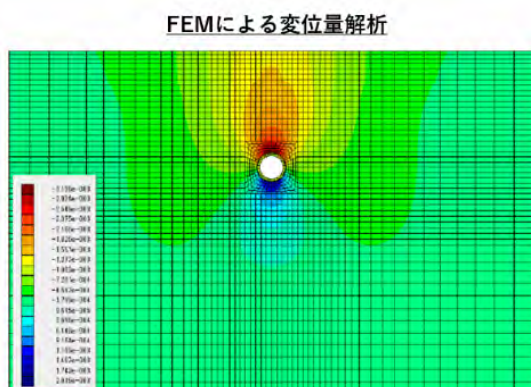
業務名	令和5年度和歌山平野農地防災事業 垣内支線水路設計他業務	表彰の理由
実施場所	和歌山県和歌山市下三毛地内他	路線計画の設計において、最も効果的かつ経済的な位置・線形等を複数案選定し、放流先の幹線水路の流下能力を確認した上で、大幅に短距離化した路線計画へ見直し、コストを大幅に縮減した。（図1） 鉄道協議において、路線選定の検討からFEM解析による沈下量予測や騒音の検討などを簡潔かつ明瞭に説明資料に取りまとめ、迅速かつ丁寧に対応したことにより関係機関から高い評価を得た。（図2） 以上のとおり、本業務はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良業務として表彰する。
業務の概要		
受注者	サンスイコンサルタント（株）	
契約額	21,835千円（税込）	
工 期	令和5年10月5日～令和6年8月19日	
本業務は、垣内支線水路に流入する流域からの排水を事前に集水し、左岸幹線水路まで導水するための分流工、バイパス排水路、放流工の設計にかかる地質調査、現地測量及び基本設計を行うものである。		

実 施 状 況 等

路線計画大幅見直し（図1）



鉄道協議における各種検討（図2）



【業務】

業務名	令和6年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 野洲川地区 石部頭首工機能診断業務	表彰の理由
実施場所	滋賀県湖南市菩提寺地内	洪水吐ゲートゴム袋体の評価に当たって外面・内面双方の調査により信頼性の高い健全度評価を行ったうえで、一部に限定した補修工法ではなく予防保全を含め、広い範囲を対象とした補修工法について具体的な検討を行い、補修工法を決定した。（図1） 機能保全コストの算定に当たって、工事実施を想定した具体的な仮設計画を検討し費用を算定するなどコスト縮減に努めた。（図2） 以上のとおり、本業務はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良業務として表彰する。
業務の概要		
受注者	日化エンジニアリング（株）	
契約額	23,925千円（税込）	
工 期	令和6年6月14日～令和7年2月18日	
本業務は、国営野洲川沿岸土地改良事業により造成された石部頭首工のゲート設備において機能診断調査を行うとともに、施設の機能を保全するために必要な対策方法等を定めた機能保全計画の策定を行うものである。		

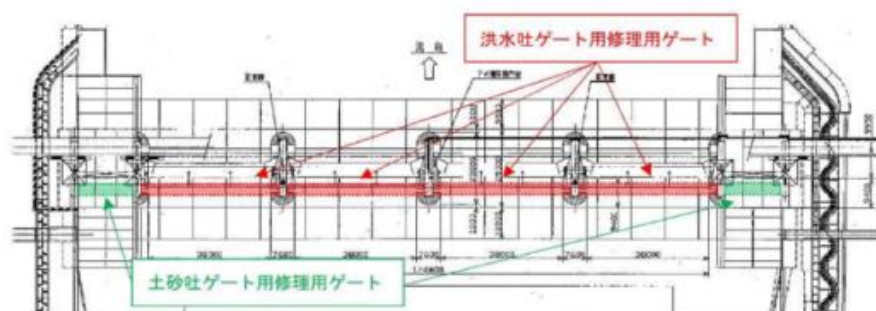
実 施 状 況 等

ゴム袋体の評価及び具体的な補修工法の検討（図1）



工事実施を想定した具体的な仮設計画を検討（図2）

修理用ゲート設置位置



【業務】

【業務】

業務名	令和6年度 広域農業基盤整備管理調査 大和高原北部地区関連事業他検討業務	表彰の理由
実施場所	奈良県奈良市、天理市、宇陀市、山辺郡山添村	
業務の概要		
受注者	若鈴コンサルタンツ(株)関西支店	
契約額	10,120千円(税込)	
工 期	令和6年10月2日～令和7年3月15日	土地利用状況の整理に当たって、造成畑・既成畑毎に農地台帳・土地登記簿等の情報から一筆調書を作成するとともに、GIS データに基づき現地調査を行おこなったうえで、確認困難な農地については独自に航空写真による突合及びドローン空撮による補足調査を行うなど、実態に即したより精度の高い突合作業を行い農地の地目を特定し整理した。(図1)
本業務は、大和高原北部地区の造成畑・既成畑の関連事業等の推進のため、所有者情報等の整理を行うとともに、かん水の利用実績の整理及び農家の意向確認等の整理を行うものである。		
		畑地かんがい利用実態把握において、給水スタンドの場所及び利用水量を平面図で可視化するなど工夫を行い、次年度以降のアンケート調査を踏まえた施設の統廃合等の検討基礎資料として整理した。(図2)
		以上のとおり、本業務はその成果が特に優秀で、他の模範となるものであるので、優良業務として表彰する。

実 施 状 況 等

土地利用状況把握のための独自の補足調査（図1）

航空写真と一筆調書の突合

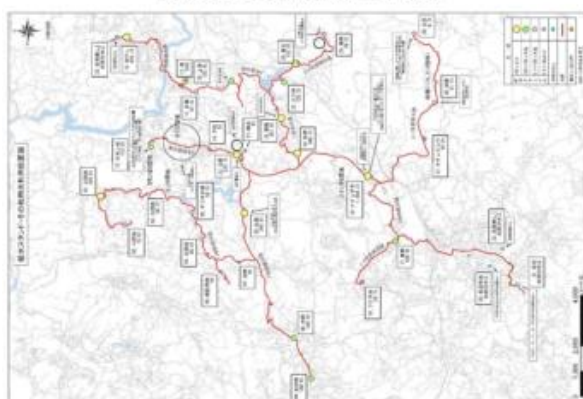


ドローンによる現況補足調査



施設の基礎資料の可視化（図2）

給水スタンド位置と使用量の可視化



【地域貢献活動（農業農村整備関連活動）】

受注者名	第五工業株式会社	表彰の理由
活動名称	農業水利施設の保安全管理	藤崎井土地改良区と契約締結した「災害時の応急対策業務に関する協定」に基づき、地域の農業への影響を軽減するため、改良区の維持管理作業に対して支援活動を実施。 ・平成29年10月の台風による池樋管漏水について漏水調査等の作業支援を行った。 ・平成30年9月の台風による用水路の倒木・倒竹撤去の作業支援を行った。 ・令和元年5月の新池の漏水について漏水調査や除去の作業支援を行った。 ・令和5年6月の台風による海神川サイホン閉塞について閉塞原因調査や除去作業の作業支援を行った。
活動概要	<p>【活動地域等】 府県名：和歌山県 地区名：和歌山平野地区 工事名：和歌山平野農地防災事業 藤崎井水路（山田排水路）第2工区工事 工 期：令和4年7月19日～令和5年3月30日</p> <p>【活動概要】 藤崎井土地改良区と平成29年7月25日より現在まで「災害時の応急対策業務に関する協定」を締結。応援要請に基づき復旧等の作業により農業用水の確保に努め、農業用水の確保ができた受益面積はのべ500haを越え、農作物への影響を大きく軽減させた。</p> <p>【活動期間】平成29年度～令和6年度</p>	<p>以上のとおり、長期において受益者及び地域社会から地域に貢献していることが認められ、高い評価を得ており、その内容が事業や地域社会に与える貢献度が大きく、他の模範となるものであるので、優良な地域貢献活動として表彰するものである。</p>

実 施 状 況 等

サイホン部の閉塞調査



閉塞物の除去作業



閉塞物の処分



藤崎井土地改良区からの感謝状授与

